

## 令和3年9月1日（水）2学期始業式

長い夏休みが明けて、元気な顔が教室にそろいました。この夏は、外に出ることを控えた夏だったので、みなさんは家で過ごす時間がいつもよりも多かったと思います。校長先生は、その時間に特に二つ、本を読むこと、固い体をほぐすストレッチ運動にじっくりと取り組みました。成果を見せます。頭も体も少し柔らかくなって2学期を迎えました。みなさんにもきっと、それぞれの「じっくりやった」がある夏だったのではないのでしょうか。今日はそんなお話もお互いに聞き合ってください。

さて、今、新型コロナウイルスの感染が、全国で広がっています。デルタ株という新しいウイルスの感染力がとても強く、これまでかかりにくいと言われていた子どもたちにも感染が増えています。

先生たちは、学校をお休みにせず、みなさんの学びを止めないための方法を工夫していくこととなります。その一つが、オンライン授業です。9月6日から1週間、2年生以上でオンライン授業を行うことを知っていましたか。この後、担任の先生から、西東京市教育委員会や校長会からのメッセージを読んでもらい、詳しく説明してもらいます。

昨日は、オンライン授業の練習として、4年生から2年生までがオンライン登校を行いました。5、6年生は少し前にやりましたね。たくさんの友達がインターネットで離れている友達とつながり、返事をしたり、夏休みの楽しかった思い出を話したり、クイズや借り物競争にも取り組んでいました。何よりいいなと思ったのは、マスクを付けないみんなの笑顔を見られたこと。みんな、久しぶりに会えた楽しさにキラキラして見えました。そして、先生や皆さんがタブレットを使いこなす技能にも感心しました。これならオンライン授業も、1週間取り組むことでよい学習ができるなと感じました。先生方のこれまでの努力や準備にも感謝しています。

コロナの影響で、2学期も行う予定だった水泳指導は中止となり、10月の初めに行う予定だった体育発表会は延期することにしました。2学期にはその他にもたくさんの行事が予定されていますが、その一つ一つを守っていきたいと先生たちは考え、よりよい実施の方法を探っています。みなさんは、

これらの行事や毎日の授業を守るためにも、予防のための行動をこれまで以上に気を付け取り組んでください。

話は変わります。この夏、とうとうオリンピックが東京で開催されました。パラリンピックは今まさにやっています。みなさんも、興味のある競技や種目をテレビで見たことでしょうか。何の競技が記憶に残っていますか。東京でのオリンピック・パラリンピックはこれで終わりますが、オリパラが伝えてくれたメッセージを一人一人が感じて、これからの学習や自分の生き方に活かしてくれるといいなと思います。校長先生がオリパラから皆さんに学んでほしい二つのことをお話しします。一つは、難しい言葉ですが、多様性と調和です。多様性とは、世界にはたくさんの人がいて、その人らしい個性や良さがあふれているということ。調和とは、うまくなじんでいる状態です。ここでは、一人一人の個性やよさを互いに認め合い活かし合って、いっしょに取り組んでいくことです。オリパラでは世界中のいろいろな人たちが一人一人輝き、力を合わせていましたよね。学校でも、教室でも同じです。一人一人の個性とよさを認め一緒に取り組む力をみなさんにも身に付けてほしいと思います。

もう一つは水泳の池江璃花子選手に代表されるように、困難に負けないで努力をする姿勢です。困難とは、難しいこと、苦しいことです。みなさんは普段の学習や行事にめあて・目標をもって取り組んでいます。その時に失敗や困難はつきものです。その困難に負けないで努力を続ける力は、みなさんをより高く、よりよい結果へと導いてくれます。

世の中には、一人ではできないけれど、みんなでやるとできることがいっぱいあります。人は人と協力することで、一人でするよりも大きな力を発揮することができます。学校は、それを体験するところです。みんながいるから頑張れる、みんなとやるから楽しい、みんなで学び、みんなで伸びていく、それが学校です。

オンライン授業も必要な時があるでしょうが、校長先生は、みなさんが実際に顔を合わせ、言葉を交わして一緒に取り組む学校生活を守っていきます。長くなりました。それでは、新しい学習や行事に、みんなといっしょにがんばる2学期が始まります。楽しんでいきましょう。